



研究室 紹介



毎号恒例の研究室紹介。

今号では

行動科学プログラム 岩永 誠先生

自然環境科学プログラム 櫻井 直樹先生

言語文化プログラム スケア一 ピーター先生

地域文化プログラム 佐竹 昭先生

人間文化プログラム 大池 真知子先生

にお話を伺いました。

いつもの質問に加え、今回は「広大のいいところ」を聞きました。先生にとっての「広大のいいところ」とは？ 広大に明日はあるのか！？

記事担当 21生 岩永 明華・木村 香名子・小出 有華・
徳丸 雄一・脇川 花緒里

レイアウト担当 20生 吉田 聰

行動科学プログラム

岩永誠先生

研究室 A217

担当授業

現代社会とリスク（1）

医療従事者のための心理学（2）

心理学A（2）

適応心理学（3）

行動制御論（5）

行動科学実験法D（6）

行動科学実験D（6）

（ ）内はセメスター

オフィスアワー

（木）14：30～17：30



研究内容

総科は自分の専門領域を守ろうとはしない。他の専門領域の人と何かができる事に面白さがある。

行動科学というのはいわば心理学なのです。私の研究の一番の中心テーマは臨床心理学です。臨床心理学というのは心の問題やストレスが原因で起こるうつ病だと、心身症などのパニック障害、あるいは社会不安障害のような心の問題がどうして起こされるのか、またはその時的心や脳の状態を実験的に検証していく学問です。普通、心理学と聞いたらカウンセリングや夢分析をイメージするかもしれません、私はひたすら実験室にこもって脳がどのように問題を処理するのか、また血圧等

を測つてその時の心身状態に關しての実験と調査を行っています。これが一つの大きな流れで、もう一つ、映像も少し含めて音楽の実験をしています。音と映像の情報が矛盾しているときにどのような反応を起こすか。例えば、スーパーマーケットで流れている音楽によって人の購入する品物が変わるので。日常生活の何気ないところで、私たちの感情は音楽に影響されています。昨年、一

昨年は睡眠の専門である林先生と共に

同で音楽と睡眠の関係についての研究を行い、眠りに誘導する音楽を調査し、製品化されています。現在、不況が影響して日本のうつ病による自殺率は増えています。その治療には時間がかかるし、収入も減ってしまいます。簡単でどこでもできて、お金がかかるないようにするには音楽療法が一番。どう音楽を使って病気にならない段階で感情をコントロールできるか。要は究極の目標はストレスコントロールです。

今や一つの領域だけではなく社会の問題も

せん。私は総合科学研究科で「21世紀科学プロジェクト」という研究プロジェクトの中の「リスク研究」を主催しています。様々な領域の専門家が集まつて去年は水俣病について、どうして起きたのか、なぜ政府はすぐに動かなかつたのか、なぜ問題は長引いたのかなど、環境物質・行政や政治の対応を含めた研究をしました。

研究への道のり

私が心理学を知ったのは大学2年生のときです。実は私は総合科学部出身なんですよ。高校のときは元々理系だったのが、文系のこともしてみたいなあと思って、文理両方のことができるところを探したら、その当時は唯一広大だけだったんです。歴史を学びたい一方、環境のこともしたかったので、総合科学部以外は全て物理学科を受験しました。物理も大好きでしたが、ちょうど私の高校時代は環境問題が沢山でてきていた頃で、そちらへの興味が強くなり

ました。そんな問題を起こす人間の行動をシユミレーションしようと、大学3年まで情報系でコンピュータを学んでいました。不可思議な行動をとる人間のこともしたいと思つて心理学を本格的に始めたのは3年の終わりです。認知心理学から始めて極めて基礎的なことから勉強し、論文を書き、大学・大学院を終えました。音楽大学で心理学を教えていたときに、学長から「音楽心理学の研究をやってくれないか」と言われ、研究を始めて広大に戻ってきました。私は心理学への道を遠回りしましたが、数年後に数学の知識がデータを分析する際に非常に役立ち、また複眼的にものを見る事が出来るようになりました。やることは紆余曲折したけど、理系のこともやつていてのが、他の心理学者にはない自分だけの強みです。

研究の中での総合科学

ストレスの問題にしても心の問題にしても心理学の領域だけでやろう

と思えば出来るのですが、そこにとどまらず経済学の先生と一緒に、経済状況がどのようにストレスに影響を及ぼすかという経済的な側面とストレスを組み合わせた研究を何年もやっています。要するに他の領域の先生と研究することに抵抗がないんです。自分の専門領域を守ろうと先生と研究をすることに抵抗がないは一切思つていません。リスクの研究会でも結局自分の専門領域でわからなかつたことを他の専門領域の人々が教えてくれて自分の足りないところを直せたりする。テーマの設定次第で総合科学部は他の専門領域の人と一緒に何かができるのが面白いですね。

広大のいいところ

ううん……(笑)。自然が多いのはいいですよね。うるさくないし、空気が気持ちいいし。田舎が好きなんですよ。ただ文化的レベルは低いかもせませんね(笑)。あと冬の寒い空気を思い切り吸い込んでしゃきっとした気持ちになれるのもいいです

と思えば出来るのですが、そこにとどまらず経済学の先生と一緒に、経済状況がどのようにストレスに影響を及ぼすかという経済的な側面とストレスを組み合わせた研究を何年もやっています。要するに他の領域の先生と一緒に研究することに抵抗がないんです。自分の専門領域を守ろうと先生と一緒に研究することに抵抗がないは一切思つていません。リスクの研究会でも結局自分の専門領域でわからなかつたことを他の専門領域の人々が教えてくれて自分の足りないところを直せたりする。テーマの設定次第で総合科学部は他の専門領域の人と一緒に何かができるのが面白いですね。

学生にひとこと

ね。

総科の学生は一つの枠には入りません。一つの専門を持つのではなく他の学部と変わらないですからね。総科は専門家を育てるのではなく、教養人という色々なことが出来る人を養成するところです。他の学部ではスペシャリストを育てるだけ。いわば、将棋の駒そのものであって、総科が目指すのは将棋をさす人。

一つの駒の動きを知っている人と一緒に何かができるのが面白いですね。いろんなものを組み合わせて使える人を目指すべきなんです。自分の専門に固執するのではなく、色々な情報を貪欲に集めて、世の中に役立つにはどのような専門とコラボできるかを判断する立場に立つてほしいですね。

【担当】21生 脇川 花緒里

一問一答！

- Q. 趣味：クラシック音楽を聴くこと
- Q. 自慢の品：家に1000枚以上あるレコード物を集めるのが好きですね。
- Q. 好きなテレビ番組：お笑い
漫才より落語が好きです。若手芸人では、はんにやが好きでネタをユーチューブで見たりします。
- Q. 座右の銘：「己を知り、己に勝て」
中学生のころから何歳になっても忘れていない言葉です。

- Q. 時間があったらやりたいこと：
とにかく音楽を聴きたい

できたら生のオーケストラを外国で聴きたいです。

- Q. 行きつけのお店：
レコード店 DONQ パン屋

最近はそごう地下の「DONQ」や、西高屋駅前の「パン屋」等のパン屋さんによく行きます。本当に「パン屋」っていうパン屋さんがあるんですよ！

自然環境科学プログラム

櫻井

直樹先生

研究室 C424

担当授業

生物学実験法・同実験（1）

細胞科学（1）

基礎環境科学野外実習（3）

植物環境生理学（4）

（ ）内はセメスター

オフィスアワー

（月）9:00～12:00



研究内容

チャンスは平等に
君の頭上に飛んで
くる。
ジャンプだ！

果物の硬さを測る研究をしていました。具体的には果物に振動を与えて共鳴させるということで、これにより食べごろや収穫時期を明確にすることです。また、樹木でも同様に水分は十分か、穴がないかを調べたりしています。さらに、自然環境科学プログラム所属なので、学生からテーマをもらい研究することもあります。

現在の研究のはじまりは大学4年生の時の植物の硬さをはかる実験ですね。細胞壁が軟らかくなったり硬

研究への道のり

駄遣いは大阪人の私としては最低最悪の評価で、それが悔しくて実用的にするため、やみくもに研究しましたね。

もともと物理をしようと思っていた。ましたが、父親から「生物もあと20年もしたら発展する」と言われました。そして、縁があり植物に興味は

期に飲み屋で愚痴をこぼす会社員を見て、会社勤めはせず、研究しようと決意しました。その後、大学院で研究を続けました。しかし、所属先がなくアメリカでポスドクを1回していましたが、その期間に広島大学で就職募集があったので、現在の職についています。自然環境の分野にいますが、振動のように、物理が絡んだ内容にひかれますね。



研究の概要図です。
岩谷（島本）三樹さんが描いてくれました。

研究の中の総合科学

先生同士での垣根がなく、理系の先生とも文系の先生とも交流が持てるところだと思います。実際、文系の心理学の教授に「植物に脳はあると思うか」って相談したことあります。

スは必ず掴めるとは限りません。毎日そのチャンスを掴めるように鍛えておく必要があります。

また、様々な人と交流を持つて自分の可能性を広げてください。可能性は誰にでもあります。みなさん、自分の可能性を信じて毎日を頑張ってください。

(注)

ボスドク：

ポスト・ドクトラル・フェローのことで博士号を取つてすぐ後の研究者をさす。大学院を卒業後、数年以内の契約制で研究員勤めをする人。日本でのボスドクは難しく渡米する人も多い。

広大のいいところ

【担当】21生 德丸 雄一



自慢の品の写真です。

一問一答！

- Q. 趣味：ギター
Q. 自慢の品：
サルが本の上で頭蓋骨を眺めている置物
上に写真があります。
Q. 好きな音楽：バッハ
Q. 好きなテレビ番組：
探偵！ナイトスクープ

- Q. 座右の銘：
「暗いと不平を言うより、
進んで明かりをつけよう」
Q. 時間があったらやりたいこと：
写真の整理
Q. 行きつけのお店：なんでやねん
西条にある居酒屋さんです。